

みんなの協力で、子どもたちが心のケアを受けられる社会へ。



サポチル

認定NPO法人 子どもの心理療法支援会

精神分析的心理療法研修プログラム（関西 2022-23 年）

募集要項

はじめに

わたしたち「子どもの心理療法支援会」は、発足17周年を迎え、その活動の社会的意義も認識され、寄付金控除などの税制が優遇される認定NPO法人として認められています。昨年度は、高度な専門性を持つ人材の育成と、より広い地域での活動を行うことを目的に、組織を大幅に改変し、訓練コースグループと関東グループが単独の部門として独立しました。

そして、この精神分析的心理療法研修プログラムは、精神分析的な心理療法及び心理療法、心理支援に関する高い専門性を有した臨床家を育成していく活動の一環として開講しています。皆様が自立性・自主性・専門性を持ち、目指す成長を達成するために学ぶことができる「場＝アトリエ」を提供する「アトリエシステム」をスローガンにしております。

・サポチル精神分析的な心理療法研修プログラムの特徴

対話を重視した少人数制のプログラムです。心理療法・心理支援に関する理論への疑問や連想、日々の臨床現場での体験を、講師や他の参加者と共有し、話し合います。様々な背景と経験を持つ人々との対話は、より深く、多様で、時には新しい理解を提供します。

そのほかにも、通年の講義形式で、一つのテーマについて複数の講師から学ぶ臨床セミナー、より実践的かつ集中的な学習を可能とする訓練コースなどがあります。訓練コースにつきましては、直接、子どもの心理療法支援会訓練コースグループ事務局(training@sacp.jp)までお問合せください。

・今年度の留意点

各プログラム（仙道先生のプログラムを除く）にオンライン参加枠を維持し、引き続き関西圏以外にお住まいの方にも参加していただくことができます。ただし、精神分析学会の系統講義、症例・事例検討会につきましては、2022年3月末以降、資格認定要件として認められるかどうかは未定ですのでご注意ください。

・今年度の主なプログラム内容の変更点

1ターム4年で実施している精神分析入門セミナーは、3クール目の1年目となり、精神分析を概観し、基礎概念を学びます。また、同じく1ターム4年で実施している文献講読Iは、京都が「現代クライン」（4年目）、大阪は「ビオン」（3年目）となります。さらに、今年度より、子どものメンタライゼーション関連プログラムとして、ガヴィニオ重利子先生による「MBT-Cを臨床に生かす」を開設します。皆様の積極的なご参加を心よりお待ちしております。

認定NPO法人 子どもの心理療法支援会
理事長 平井正三

1. プログラム一覧

●本研修プログラムは、「基幹セミナー」「応用セミナー」、「子どものメンタライゼーション関連プログラム」によって構成されています。

●下記日程は、講師の都合で一部変動することがあります。ご了承ください。

コース名		講師	会場	定員	オンライン参加枠	日時	受講料	支払い方法			
基幹セミナー	乳児観察セミナー	平井正三	御池	5名	—	毎週月曜日 19:30～21:00	5,000円/1回	B ※参加ご希望の方は研修グループ事務局までご連絡ください。			
		鶴飼奈津子	梅田	5名	—	毎週土曜日 10:30～12:00					
	精神分析入門セミナー (小人数の講義形式)	津田真知子・竹山陽子/他	京橋	10名	有	第2土曜日 15:30～18:00	30,000円/全10回	A			
	ワーク・ディスカッションセミナー	鈴木誠	御池	8名	有	第3土曜日 18:30～21:00	50,000円/全10回	A			
	文献講読	文献講読Ⅰ	ピオン	飛谷渉	なんば	15名	有	第4土曜日 18:30～21:00	正会員 50,000円 / 全10回 その他 60,000円 / 全10回	A ※正会員割引は2月の理事会までに入会が承認された方/前年度の会費を納められている方に限ります※	
			現代クライン	平井正三	御池	12名	有	第1土曜日 18:30～21:00			
文献講読Ⅲ 「こころの発達心理学」		前半:久保信代 後半:狗巻修司	前半:オンライン 後半:御池	12名	有	第2土曜日 16:30～18:30					
	榎原久直	オンライン	12名	有	第3土曜日 19:00～21:00						
応用セミナー	GSV	Small Group SupervisionⅠ	飛谷渉	なんば	5名	有	第2・4火曜日 20:00～21:30	5,000円/1回 90分			B
		Small Group SupervisionⅢ	仙道由香	新大阪	4名	無	第2・4火曜日 8:30～10:00	6,000円/1回 90分			
		森ノ宮事例検討会	津田真知子・竹山陽子/他	京橋	10名	有	第2土曜日 18:30～20:30	25,000円/全10回			
	勉強会・ワークショップ	思春期青年期の精神分析的 心理療法セミナー	飛谷渉	なんば	15名	有	第2土曜日 18:30～21:00 (月により第5土曜日開催)	50,000円/全10回			
		心理療法のアセスメント (成人)	仙道由香	新大阪	5名	無	第4土曜日 18:30～21:00				
		初学者向け 子どもの心理療法セミナー	渡邊智奈美	京橋	8名	有	第2土曜日 13:00～15:00	20,000円/全10回			
MBT-C 関連プログラム	MBT-Cを臨床に生かす	ガヴィニオ重利子	オンライン	15名	有	第1金曜日 20:00～22:30 *前期(4～9月)と後期(10～3月)の2クール制で実施。後期の日程と募集は改めて行う	25,000円 / 前期5回	A			
	MBT-Cベーシックトレーニング	詳細が決まり次第、正会員メンバーリスト、およびホームページなどでお知らせします。									
	MBT-C Group Super Vision(外部)	ご関心のある方は、研修プログラムグループ事務局までお問い合わせください。									
研究会	土曜研究会	土曜研究会 委員会企画	御池	—	有	第3土曜日 19:00～22:00	無料	NPO正会員のみ ※参加ご希望の方は研修プログラムグループ事務局までご連絡ください。			

【研修プログラムへのオンライン参加について】

会場参加を希望された場合でも、感染状況に応じたオンライン参加が可能です。ただし、仙道先生の「Small Group S.V.Ⅲ」・「心理療法のアセスメント(成人)」につきましては、講師が必要と判断した場合のみ可能ですので、お申し込み後に直接講師とご相談いただくことになります。

【支払い方法】

A：受講料は3月末までに納入してください。やむを得ない事情で分納を希望される方は、研修プログラムグループ事務局にご相談ください。

B：セミナー開講後、講師の指示に従ってください。

※一度納入されました受講料は、返金いたしかねますのでご了承ください。

※料金の分納制度はあくまで振込みの負担を軽減するための措置です。研修プログラムは1年を通して参加していただくことで得られる濃密な学びとメンバーシップを重視しておりますので、半年単位の参加はご遠慮いただいております（「MBT-Cを臨床に生かす」を除く）

※申込時に2021年度の正会員会費の納入が確認できない場合には、非会員価格の適用となります。

2. お申し込み

●**対象**：臨床心理士、公認心理師、医師、それに準じる専門家。もしくは心理臨床の実践について学んでいる大学院生。

●**参加の可否**：参加希望者が定員を超えた場合は、前年度から引き続き受講される方に優先的に参加いただきます。次に新規に参加される正会員、賛助会員、一般の順にご参加いただきます。正会員、賛助会員の中で定員を超えた場合は、先着順にてご参加いただきますのでご了承ください。参加の可否につきましては、3月上旬までに事務局よりご連絡いたします。ご参加いただける場合は、その連絡とともに受講料の振込みについてのご案内をお送りいたします。連絡は、原則、E-mailで行いますが、他の連絡方法をご希望の方は、研修プログラムグループ事務局（kenshu@sacp.jp）までご相談ください。

※例年、事務局からメールが届かないという事例が散見されます。1週間以上返事が無い場合はメールの不具合の可能性がありますので、事務局までお問合せください。また、迷惑メールフォルダなどに自動的に振り分けられることもありますので、ご確認をお願いいたします。

【お問い合わせ】

認定NPO法人 子どもの心理療法支援会 研修プログラムグループ事務局
〒604-8187 京都市中京区東洞院通御池下る笹屋町444 初音館302
Fax：075-600-3238 / E-mail：kenshu@sacp.jp / URL：<http://sacp.jp/>

【お申し込み方法】

2022年2月20日までに、フォーム（URL及びQRコード）にてお申し込みください。フォームでのお申し込みが難しい場合には研修プログラムグループ事務局（kenshu@sacp.jp）までご相談ください。

<https://forms.gle/tFQn32wGXcU9FwEX8>



3. 会場

それぞれの会場の詳細は、受講が決定した際にお知らせします。

表記	会場の名称	最寄駅
御池	御池心理療法センター	阪急烏丸駅下車15分、 地下鉄烏丸御池駅下車2分
梅田	(詳細は受講決定後にお知らせします)	JR・阪急・阪神梅田駅下車10分 地下鉄中崎町駅下車すぐ
なんば	精神分析的心理療法・プラクティスなんば	地下鉄大国町駅下車5分
京橋	大阪心理臨床研究所・京橋心理相談室	JR・京阪・地下鉄京橋駅下車5分
新大阪	新大阪心理療法オフィス	JR・地下鉄新大阪駅下車7分

4. 修了証の発行

「初学者向け子どもの心理療法セミナー」「MBT-Cを臨床に生かす」、「土曜研究会」を除く各セミナーについて、年度毎に修了証を発行いたします。修了証は、本NPOがコース修了と考える基準を明確にし、受講生がその基準を満たしたことを証明するためのものです。特に、日本精神分析学会認定の精神分析的心理療法士・精神療法医資格取得のために単位を必要とされる方は、該当するプログラムの修了証(又は7割の出席で発行される研修証明書)を得る必要があります。また、NPO法人子どもの心理療

法支援会が認定する「子どもの精神分析的心理療法士」の資格取得を目指される方は修了証を取得していただく必要があります。詳しくは、受講確定後に配布する「受講の手続き」をご参照ください。各コースにおいて、修了証を受け取るためには、以下の要件を満たすことが必要となります。

乳児観察	2年間の乳児観察を終了すること
G. S. V.	出席率8割
その他セミナー	8割の出席および各講師が指定したテーマに沿ったエッセイの提出

5. 研修プログラム内容

5-1. 基幹セミナー

「基幹セミナー」は子どもの精神分析的心理療法を学ぶために必須の基礎理論と体験学習で構成され、子どもの臨床全般に役立つ内容です。より基礎的な内容は、応用セミナーの「初学者向け子どもの心理療法セミナー」で扱われます。

●乳児観察

精神分析的な心理療法を実践するにあたって、基本的な治療者の態度について学ぶことができます。心理療法の事例を持たない方の参加も歓迎しています。本セミナーのお申し込みは、事務局又は講師までお問い合わせください。なお、定員を超過した場合は「観察と臨床基礎コース」希望者の参加が優先されます。

乳児観察セミナー	平井正三先生／御池	毎週月曜日／19:30～21:00
	鵜飼奈津子先生／梅田	毎週土曜日／10:30～12:00

～講師（平井先生）からの内容紹介～

本セミナーでは、タビストック方式乳児観察を実際に経験することで、乳児の心の世界や母子関係の実際に触れる一方、精神分析的観察のスタンスを身につけていくことを目指していきます。参加者は、2年間毎週1時間観察のために、そしてさらにそれ以上の時間を記録のために費やすことのできるコミットメントを必要とされます。乳児観察の経験は子どもの精神分析的な心理療法の研修の基礎であると、本NPOは考えています。本セミナーに参加を希望される方に対しては、事前に始め方などをご相談いただく機会を設けますので、研修プログラムグループ事務局（kenshu@sacp.jp）もしくは講師にご連絡ください。

●精神分析入門セミナー

精神分析の歴史・基礎概念・技法などを系統的かつ包括的に学ぶことを目的としたセミナーです。少人数を対象とした講義形式で、かつ毎回講師が代わるオムニバス形式で豊かな視点を身に着くように企画されています。本セミナーは「日本精神分析学会認定精神療法医・日本精神分析学会認定心理療法士」認定研修グループの認定審査を受け、「系統講義」として認定されています。

精神分析入門セミナー	津田真知子先生 竹山陽子先生他／京橋	第2土曜日／15:30～18:00
------------	-----------------------	-------------------

～講師からの内容紹介～

精神分析について基礎から学ぶことを希望されている方のためのセミナーです。また中堅の方にも再度、ご自分の学びを振り返る機会にさせていただくことのできるものになっています。精神分析学会認定系統講義ですので4年(100時間)で精神分析の全体を系統的に学べるようにプログラムが組んであります。今回は3クール目の初年度ですので精神分析を概観し、基礎概念について学びます。

この小規模セミナーは受容的な雰囲気の中で、講師の経験事例も聞きながら精神分析理論が生きた形で学べるように工夫されています。小規模なセミナーのために大規模なセミナーでは体験できない参加者同士の親密感や安心感を基に、出しにくい素朴な質問や疑問も率直に出せるのが

特徴です。精神分析的臨床の力をつけるためには、絶えず実践と理論を行きつ戻りつしながら学び、深く考える態度を身につけることが必要です。また自分の疑問や考えを表現することが重要です。本セミナーはその訓練に寄与できるものと考えます。

講義は、主に精神分析学会の認定精神療法医・認定心理療法士、及び認定スーパーバイザーが担当します。また講師のほかにゲスト講師を加えて理解がより深まるように構成されています。

4年を1クールとしていますが、1年ごとの受講も可能ですので奮ってご参加下さい。

受講希望者多数の場合は、精神分析学会の会員の方の受講を優先させていただきます。

●ワーク・ディスカッションセミナー

ワーク・ディスカッションセミナー	鈴木誠先生／御池	第3土曜日／18:30～21:00
<p>～講師からの内容紹介～</p> <p>他職種との協働が求められる医療、福祉、教育などの臨床現場で、個人心理療法の枠組みでは収まりきらない『職場の日常』に、精神分析のエッセンスを生かす方法論です。激しいこころの痛みや情緒に巻き込まれて、対人援助職としてうまく機能できない場面について話し合い、探索して内省する力を養います。</p>		

●文献講読

精神分析および発達に関する基本的な文献を読み、学んでいきます。文献講読Ⅰは2つのセミナーが開講されており、内容が異なりますのでご注意ください。飛谷先生（なんば）は1ターム4年の3年目（ビオン）、平井先生（御池）は1ターム4年の4年目（現代クライン）となります。どちらの「文献講読Ⅰ」も「日本精神分析学会認定精神療法医・日本精神分析学会認定心理療法士」認定研修グループの審査を受け、「系統講義」として認定されています。

文献講読Ⅰ 「精神分析のエッセンスを学ぶ」	ビオン：飛谷渉先生／なんば	第4土曜日 ／18:30～21:00
	現代クライン：平井正三先生／御池	第1土曜日 ／18:30～21:00

～講師（飛谷先生）からの内容紹介～

精神分析の歴史を踏まえた理論的、技法的発展について、フロイトからクライン、クラインからビオン、さらに現代クライン派の展開というクライン派の系譜を軸に、4年間かけて系統的に学んでゆく文献講読コースです。次年度は4クール目の3年目にあたり、ウィルフレッド・ビオンの臨床概念や精神分析そのものに関する考え方について一年間かけて学びます。ビオンの概念は、一見すると難解で近寄りたく感じられますが、臨床実践の核に光を当てる大変刺激的で有用なものです。特にこのセミナーでは「コンテイナー・コンテインド・モデル」という現代の精神分析的な心理療法/精神療法の中核的概念を理解することに焦点化します。この概念は、心理療法臨床ばかりでなく一般精神科臨床、児童福祉領域などにおける症例・事例の理解に新たな視点をもたらします。さらにこの概念を学ぶことに伴って、「アルファ機能」「変形」「プロト・メンタル・マトリクス」など、独学では理解困難な諸概念について、臨床経験につながる理解が得られるように企画しています。今年度クラインの文献講読に参加された方はもちろん、広くビオンの概念を臨床につながる形で理解したい方に適しています。もちろん今回だけのご参加も可能です。コロナ感染状況を考慮し、オンラインもしくはハイブリッド開催を予定しています。

【使用文献】

「精神分析の方法Ⅰ，Ⅱ」ビオン，WR 著，福本・平井訳（法政大学出版局）

「Second Thoughts.」 Bion 著，(Karnac)，「Reading Bion」 Vermote, R. 著 (Routledge)

「Bion's sources」 Torres & Hinshelwood 著，(Routledge)

「ビオン：クライン派現象学から究極の精神分析的リアリティへ」

飛谷渉・大阪教育大学保健センター年報 2018

「エディプス・マターズ—現代クライン派臨床理論から考える心のインフラ」

飛谷渉（岩波書店） In: 「思想」 2021年8月号「特集フロイト・ルネッサンスⅡ」

～講師（平井先生）からの内容紹介～

本セミナーは、クライン以降のビオン以外のクライン派の文献を読んでいます。シーガル、ローゼンフェルト、ジョセフなど現代クライン派の、精神病に関する仕事、病的組織化、逆転移、今ここでの理解と解釈などを『メラニー・クライン トゥデイ』に収録されている論文を通じて学び、メルツァー、タスティン、ビック、アルヴァレズについても読んでいきます。
 使用文献：スピリウス編『メラニー・クライン トゥデイ①②③』（岩崎学術出版社）など（入手できない受講者をご相談ください。）

文献講読Ⅲ 「こころの発達心理学」	久保信代先生／オンライン 猪巻修司先生／御池	第2土曜日／16:30～18:30
	榊原久直先生／オンライン	第3土曜日／19:00～21:00

文献講読Ⅲ／御池・オンラインは、前半を久保先生、後半を猪巻先生に担当していただきます。

～講師（久保先生）からの内容紹介～

昨年度始まった新タームからは、子どもの情緒発達に関する最新の科学的知識が統合された『Nurturing Natures』（新版）を講読し、アタッチメント理論や神経科学などの視点から、遺伝や環境の影響も含む様々な重要トピックスを理解していきました。当初は2年ターム、つまり2022年度読了の計画でしたが、一年延長して2023年度読了に変更し、より深く、濃く講読していこうと考えています。今年度からの途中参加も大歓迎ですので、よろしくお祈りします。

本書は、家庭や社会的な文脈のなかでの子どもの発達について、一貫した視点で捉えており、日ごろの心理臨床現場に生かせる見立てのヒントを含んでいます。2011年に初版が出版され、邦訳もありますが、本講座では、新たなトピックスが追加された2016年の新版をテキストとしています。英語文献ですが、タビストッククリニックで数々の研修を提供してきた著者の語りかけてくるような文章は、読者を子どものこころの世界に導きます。1回につき、およそ1～2章のペースでじっくり読みます。その後、内容の疑問や実際の臨床への応用について話し合います。

【テキスト】

Music, Graham. (2016) Nurturing Natures: Attachment and Children's Emotional, Social and Brain Development. London. Psychology Press (2nd edition)

～講師（猪巻先生）からの内容紹介～

1978年にPremack, D. と Woodruff, G. により「心の理論」が提唱されてから40年以上経過し様々な知見が積み重ねられてきました。そこで今回の文献演習では、「心の理論」の最先端の研究から発達の基礎を捉えなおし、「心の理論」研究と保育・療育・教育実践とのつながりについて検討していきたいと思えます。

下記の文献を指定図書とし、受講者で発表を分担・全員でディスカッションを実施できればと思います。1回目は下記の文献のI-1とI-2を熟読した上でご参加ください。

【テキスト】

子安増生編著 『「心の理論」から学ぶ発達の基礎：教育・保育・自閉症理解への道』 ミネルヴァ書房、2016年

～講師（榊原先生）からの内容紹介～

本セミナーでは子どもの精神分析的アプローチに隣接する、発達心理学や発達精神病理学、脳科学などの研究知見を紹介し、子ども個人のこころの発達や、子どもを取り巻く関係性の構成要因であり、育てる者・共に育つ者である養育者のこころの発達にも目を向け、「関係発達」や「関係障害」という視点から、発達の相互作用を捉えていきます。

今年度は、新版 K 式発達検査に基づいた精緻な発達理論とその典型的なプロセスを『新版 教育と保

育のための発達診断』を用いて学んだ上で、近年注目が集まりつつある“メンタライゼーション”に繋がる愛着や早期のコミュニケーションに関する基礎研究の知見に触れ、人のこころとからだの発達のメカニズムや原動力について検討していきたいと思います。またそれらを剥奪される体験として、虐待がもたらす脳への影響や、虐待の連鎖のメカニズムやその連鎖を断ち切る支援についても紹介したいと思います。

子どもや養育者を対象とした臨床を始めた初学者から、改めて発達研究を学び直したい経験者まで幅広い方のご参加をお待ちしております。

5-2. 応用セミナー

「応用セミナー」は、講師の先生方が独自に運営されるセミナーを本研修プログラムの一つとして組み入れているものです。経験豊富な講師の方々がそれぞれユニークな視点と専門性をもって開催しているセミナーです。より多角的に心理療法について学ぶことができます。

●グループスーパービジョン

少人数のグループスーパービジョンです。1年間継続して、同一のメンバーが、同じスーパーバイザーのもとで事例を検討します。各グループとも受講生にあった細やかな指導がなされるとともに、スーパーバイザーの臨床に対する考え方やケースに対する姿勢など、さまざまな面を学ぶことができます。「森ノ宮事例検討会」だけは毎回様々な先生を講師としてお招きし、多角的な議論ができるようになっております。なお、Small Group S.V. I・森ノ宮事例検討会については、「日本精神分析学会認定精神療法医・心理療法士」認定研修グループの認定審査を受け、「症例・事例検討会」として認定されています。

Small Group S.V. I	飛谷渉先生／なんば	第2・4火曜日／20:00～21:30
<p>～講師からの内容紹介～</p> <p>子ども、思春期、成人という幅広い年齢層のケースを対象としてグループ・ディスカッション形式のスーパービジョンを行います。精神分析的な心理療法における治療構造の創造とその維持、転移逆転移をどう読みどう解釈するか、その二つをグループスーパービジョンの主眼とし、さらに心理療法のセットアップ、アセスメント、精神分析的態度の獲得などにも適宜ふれて行きます。その中で1セッションごとに何が起きているのかを感知できる力をつけることを目標とします。</p> <p>日本精神分析学会認定研修グループ（症例検討会機能）となっています。コロナ感染状況を考慮し、オンラインもしくはハイブリッド開催を予定しています。</p>		

Small Group S.V. III	仙道由香先生／新大阪	第2・4火曜日／8:30～10:00
<p>～講師からの内容紹介～</p> <p>成人(概ね大学生相当程度から老年期まで)の個人を対象とした精神分析的な心理療法について検討します。セッションの詳細なプロセス・ノートをもとに、毎回、小グループで、丁寧にディスカッションを試みます。セッション内で展開する生き生きとした転移・逆転移などを理解し、それを語りかける方法の理解を目指します。参加者相互に話し合うことを通して、共に学び合う体験を持ってみましょう。</p> <p>※前年度から引き続きで参加ご希望の方も、今年度分として改めてお申し込みをしてください。</p> <p>※参加にあたって懸念事項や質問などがある方は、事務局を通して講師にご相談ください。</p> <p>【参考文献】</p> <p>必要に応じ、随時ご紹介いたします。</p>		

森ノ宮事例検討会	津田真知子先生 竹山陽子先生 他 /京橋	第2土曜日 / 18:30～20:30
<p>～講師からの内容紹介～</p> <p>精神分析入門セミナー（15時30分～18時）の後の時間帯（18時30分～20時30分）に行われます。参加者が順番に事例を提供し、それを助言者の先生を中心に参加者全員で検討します。助言者は入門セミナーの講師、ゲスト講師の2名で、2名の先生とクローズドの参加者で毎回率直なディスカッションがなされます。凝集性が高く活発でオープンな雰囲気の検討会ですので初めて事例を出される方も参加しやすいものです。</p> <p>参加者は、事例を提供できる方に限定します。事例検討会は、自分の経験していないケースについて考え、自分の考えを言語化する訓練の機会になり、臨床家に不可欠な研修です。</p> <p>日本精神分析学会認定の事例検討会ですので、精神分析学会の会員、特に認定取得を希望される方の参加を優先いたします。</p>		

●セミナー・ワークショップ

それぞれのセミナーやワークショップが独自のテーマを設定し、少人数で1年間継続して学べるようになっていきます。事例の特徴に合わせて必要な知識を集中的に学べるセミナーや子どもに限らず心理療法の基本を学べるセミナーなどがあります。

思春期青年期の精神分析的な心理療法セミナー： タビストックのアドレッセント臨床を学ぶ	飛谷渉先生 /なんば	第2土曜日 18:30～21:00
<p>～講師からの内容紹介～</p> <p>本年のテーマ：「摂食障害を理解する」</p> <p>本講は、前半1.5時間の文献講読と後半1.5時間の事例検討で構成されています。今回の思春期文献講読では、摂食障害という病を、特に女兒の心の発達に関するメラニー・クラインの発見を通じて有機的に理解し、そこから現代の若者に蔓延する心の枯渇という現象にまで拡張して考えてゆくことができるよう、これらの心性の精神分析的理解に取り組みます。10回のうちの2回では、文献講読ではなく講師による摂食障害に関する臨床講義を行います。</p> <p>思春期青年期（13歳～22歳）の臨床例をお持ちの臨床家、もしくは近い将来そのような年齢層の患者との面接をする予定の臨床家が対象となります。スクール・カウンセリング、学生相談、児童思春期精神医療、児童養護施設など、様々な領域からの事例検討を行います。その際、特に臨床現場の特性やセッティングの相違によるアプローチの違いに焦点化して検討します。メンバーには文献講読か事例検討どちらかへのご発表をさせていただきます。コロナ感染状況を考慮し、オンラインもしくはハイブリッド開催を予定しています。</p> <p>使用文献：‘The Anorexic Mind.’ Marilyn Lawrence (Karnac, 2008)</p>		

心理療法のアセスメント（成人）	仙道由香先生／新大阪	第4土曜日／18:30～21:00
<p>～講師からの内容紹介～</p> <p>どのような心理療法であろうとも、心理療法を引き受けるに先立って、丁寧なアセスメント・コンサルテーションをおこなうことが極めて重要です。アセスメント・コンサルテーションとは、その個人にとって、いま、なんらかの心理療法をおこなうことが、副作用に比して、十分役に立ちそうかどうか、立ちそうとするならば、どこで、誰が、どのような心理療法を、どのようにおこなうことが最も役に立ちそうか、担当者や治療構造の特徴や限界なども見極めつつ理解しようとし、判断し、提案し、合意に至ろうとするプロセスです。このプロセスそのものが、既に、治療的な体験になることも可能です。</p> <p>本セミナーは、そのようなアセスメント・コンサルテーションについて理解を試みます。</p> <p>毎回、まず、時間の前半では、参考文献の指定の章を皆で講読し、理解を深めます。次いで後半に、事例検討を行い、より实际的、体験的に理解を目指します。</p> <p>※本講義は、成人(概ね大学生程度から老年期まで)を対象としたアセスメント・コンサルテーションを取り扱います。</p> <p>※新規参加の方、前年度から引き続き参加継続の方、改めて再度参加の方も歓迎します。</p> <p>【参考文献】</p> <p>1) 仙道由香, 2019, 心理療法に先立つアセスメント・コンサルテーション入門, 誠信書房. 2a) Peter Hobson (Ed.), 2013, Consultations in Psychoanalytic Psychotherapy, Karnac. 2b) 福本修 (監訳), 2019, 精神分析的な心理療法におけるコンサルテーション面接, 金剛出版. 1) は必須。2a) と 2b) は、各自どちらか読みやすい方を選択してください。 その他、随時必要に応じ、随時ご紹介します。</p>		

初學者向け 子どもの心理療法セミナー	渡邊智奈美先生／京橋	第2土曜日／13:00～15:00
<p>～講師からの内容紹介～</p> <p>このセミナーは、大学院生や臨床経験5年目くらいまでの初心者の方を対象としています。子どもの精神分析的な心理療法に関心があり、実践し始めたばかりの方に向いているセミナーです。訓練コースに入ることを検討しつつも、まだはっきり決心がつかない初心者の人にも向いています。セミナーの前半(1時間)は文献の講読とディスカッションを行います。文献は、今年度はウィッテンバーグの『Psycho-Analytic Insight and Relationships: A Kleinian Approach』の翻訳書、『臨床現場に生かすクライン派精神分析』を読んでいこうと考えています。この本は、イギリスで30年以上前に出版されていますが、今でも世界の多くの国で読まれており、クライン派精神分析の基礎理論が臨床事例と結びついた形で提示されており、心のケアと関わる多くの臨床家にとって、学ぶことの多い良書です。この文献を指定図書とし、毎回1、2章をテキストとし、受講者で発表を分担・全員でディスカッションを実施できればと思います。後半(1時間)は子どもの事例検討を行い、参加者が自らの臨床について言葉にして提示する機会を提供します。初心者ならではの素朴な疑問、心理療法を実施しようとするうえで生じる不安についても一緒に考えていく場にしたいと考えています。このセミナーは同じような経験をしている初心者メンバーが集まるグループでもありますので、仲間とともに日々感じることを率直に話し合う場として、臨床実践をしていく上で大いに活用していただければと思います。</p> <p>【指定図書】</p> <p>I・ザルツバーガー-ウィッテンバーグ著 平井正三監訳 武藤誠訳 『臨床現場に生かすクライン派精神分析』2007 岩崎学術出版社</p>		

5-3. 子どものメンタライゼーション関連プログラム

今年度より、「子どものメンタライゼーション関連プログラム」として、メンタライゼーションを子どもの臨床に生かしていくためのセミナーを開講します。「MBT-C を臨床に生かす」は、諸事情により後期の予定が未確定なため、まずは前期 5 回分のみの募集を行います。後期分は予定が確定次第、前期のメンバー優先で募集を行う予定です。また、MBT-C ベーシックトレーニングや、MBT-C のスーパーヴィジョングループにご関心のある方は、研修プログラムグループ事務局 (kenshu@sacp.jp) までお問い合わせください。

MBT-C を臨床に生かす	ガヴィニオ重利子先生 / オンライン	第 1 金曜日 / 20:00～22:30 前期 5 回 (4 月～9 月) *8 月を除く
<p>～講師からの内容紹介～</p> <p>このセミナーでは、子どものための Mentalization Based Treatment (MBT-C) を実際の臨床に活かしていくために、その材料となるような読み物 (研究論文や書籍の一部) を参加者の臨床現場や興味に合わせて一緒に選択していきます。</p> <p>前半、参加者全員でそのセッションに選ばれた読み物を吟味した後、後半、そこでテーマとなった内容をより実践的に考えるための事例を用いたディスカッションを行います。メンタライゼーションの源泉となる愛着理論や Reflective functioning を始め、参加者の興味に沿って、MBT-C を多様な角度から自由に思考し、対話することを目指します。心理療法として MBT-C を実践されたい方だけでなく、学校、デイケア、行政、福祉施設など、さまざまな現場でそのエッセンスを活かしたいと考えておられる方々とも是非、一緒に学べる機会となれば幸いです。</p>		

5-4. 委員会企画勉強会 (参加費無料)

土曜研究会	土曜研究会委員会企画 / 御池 (オンライン)	第 3 土曜日 / 19:00～22:00
<p>～委員会からの内容紹介～</p> <p>文献講読と事例検討会を行いながら、専門会員が個々の研究について発表していきます。NPO 正会員はボランティア会員含め、どなたでも、いつからでも、無料で参加することができます。会場は御池心理療法センターとオンラインを予定しています。</p>		

講師紹介（敬称略、50音順）

狗巻修司	京都府立大学大学院修了（博士：福祉社会学）後、日本学術振興会特別研究員（PD）、佐賀大学文化教育学部講師を経て、現在、奈良女子大学研究院人文科学系准教授。
鵜飼奈津子	1997～2004年タビストック・クリニック児童・家族部門留学、Child & Adolescent Psychotherapist 取得。ロンドン医療センターおよびRefugee Therapy Centre、Child & Adolescent Psychotherapist を経て、現在、大阪経済大学人間科学部教授。認定NPO法人子どもの心理療法支援会顧問。
ガヴィニオ重利子	2003年Webster University Counseling 修士修了。臨床心理士。現在、開業臨床Child-Parent Counselling を続けながら、University College LondonでParental Curiosity（親の持つ好奇心）をテーマに博士研究課程在籍。Anna Freud Centre 認定、MBT-C プラクティショナー・スーパーバイザー。
久保信代	Lesley College（現 Lesley University）Graduate School、Severe Special Needs 修了。Adult Attachment Interview コーダー資格。公認心理師。臨床心理士。現在、関西福祉科学大学心理科学部心理科学科准教授。
鈴木誠	1988年名古屋大学医学部精神医学教室 卒後研修修了。現在、くわな心理相談室 主宰。日本精神分析学会認定スーパーバイザー・認定心理療法士。認定NPO法人子どもの心理療法支援会監事。
仙道由香	臨床心理士。2008～2014年タビストック・クリニック成人部門留学。タビストック認定成人心理療法士（TQAP）資格取得。英国精神分析協議会（BPC）登録精神分析的な心理療法士。現在、新大阪心理療法オフィス代表のほか、大阪経済大学および同大学院にて兼任講師も務める。 https://yukasendo.com
竹山陽子	奈良女子大学修士課程修了。現在、御池心理療法センター/岡クリニック勤務。日本精神分析学会認定心理療法士及び認定スーパーバイザー、NPO法人子どもの心理療法支援会認定子どもの精神分析的な心理療法士及び子どもの精神分析的なコンサルタントセラピスト。
津田真知子	奈良女子大学修士課程修了。関西心理センター・谷町子どもセンター所長を経て現在、大阪心理臨床研究所代表。認定NPO法人子どもの心理療法支援会副理事長。国際精神分析協会（IPA）認定精神分析家（日本精神分析協会準会員）。日本精神分析学会認定スーパーバイザー。精神分析的サイコセラピーインスティテュート・大阪（IPPO）理事。
飛谷渉	1991年大阪市立大学医学部卒、2004～2008年タビストック・クリニック思春期青年期部門留学。現在、大阪教育大学保健センター准教授。精神科医、日本精神分析学会認定スーパーバイザー。認定NPO法人子どもの心理療法支援会顧問。精神分析的サイコセラピーインスティテュート・大阪（IPPO）理事。
平井正三	京都大学教育学研究科博士課程を経て、タビストック・クリニック児童・家族部門留学、Child & Adolescent Psychotherapist 訓練コースを修了し、資格取得。現在、御池心理療法センター代表および認定NPO法人子どもの心理療法支援会理事長。大阪経済大学客員教授。日本精神分析学会認定スーパーバイザー。精神分析的サイコセラピーインスティテュート・大阪（IPPO）会長。
榊原久直	大阪大学大学院博士後期課程修了（人間科学博士）。現在、神戸松蔭女子学院大学人間科学部准教授。臨床心理士・公認心理師。関係性の発達に焦点を当てた療育教室「感覚運動指導教室PRIME」の運営に携わっている。
渡邊智奈美	大阪大学大学院人間科学研究科博士前期課程修了。臨床心理士。公認心理師。2015年「子どもの精神分析的な心理療法士」資格取得。現在、河内総合病院、大阪心理臨床研究所に勤務。

※本 NPO は、精神分析的な心理療法の実践において、個人スーパービジョンおよび個人分析・個人セラピーを受けることは重要かつ欠かせないものと考えております。個人スーパービジョン、個人分析をご希望の方には、ご相談を受付けますので、事務局（info@sacp.jp）までご連絡ください。